

R2年 9月

## ■絵本

「 やまこえ のこえ かわこえて 」

・作:こいで やすこ

・出版社: 福音館書店

満月の夜遅く、きつねのきっこは、山こえ野こえ川こえて、油揚げを買うためにおとうふやさんのある町へ出かけます。

お出かけしているきっこを見て、おつきさま、ふくろう、いたちがついてきてくれます。おとうふやさんは、満月の夜だからと夜遅くまで油揚げを準備してきこたちを待っていてくれました。油揚げを百枚買った帰り道、きっこから油揚げを取り上げようとするものがあらわれますが…。

読み進める間、ちょっとどきどきしながら、思わず、きっこを見守っている自分に気づきました。

お子さんと一緒にきっこの勇気ある冒険を楽しめる絵本です。

(対象 幼児から)

## ■児童書

「 歴史ごはん 信長、秀吉、家康たちが食べた料理 つくって、味わい、歴史を知ろう 」

・監修: 永山 久夫

・出版社: くもん出版

おうちで過ごす時間が増えて、お料理を手伝ったり、お菓子を作ったりした子もいるんじゃないかな。現在は、砂糖、しょうゆ、みそなど、調味料も豊富で、手軽においしいものが食べられます。では、昔はどうだったのでしょうか。

山梨県の郷土食「ほうとう」は、戦国大名の一人、武田信玄が戦の時の食事として作らせたのが始まりといわれます。荷物を出来るだけ少なくするために、なべのかわりとして使ったものは何だと思いませんか？他にも信長、秀吉、家康、さらには、特別な任務を果たす忍者が食べたものとは…？

残された土器や文献などから、現代風に再現されたレシピが写真とともに載せてあります。実際に作ってみて、どんな味がするのか試してみよう！

(対象 小学校中学年から)

## ■一般書

「 レ・ミゼラブル 第一部 ファンチーヌ 」

・著: ヴィクトール・ユゴー

・訳: 西永良成

・出版社: 平凡社

19世紀半ばに書かれたフランス文学に燦然と輝く金字塔・永遠の名作の第一部(全5巻)。

映画化や舞台化もいくどとなくされ、また「ああ無情」といえば、子どもの文学全集などには必ずと言ってよいほど収録されており、なじみの深いものとなっています。しかし、話は知っていても、全編通して読んだ人は少ないのではないのでしょうか？

この本は、数多くの完訳版の中で最も新しく、こなれた読みやすい文体で全訳読破にお勧めです。

(対象 一般)